

【終了報告】子育て応援講座拡大講演会

## 「学校へ行けなかった僕の気持ち～親と先生の関わり方～」



講師 棚園 正一 氏(漫画家)



9月27日(金)18時30分から別府市公会堂大ホールにて開催しました。  
市内外から多くの方々の参加がありました！

.....  
小中学校の9年間学校へ行けなかった棚園さん。子どもの頃の体験や当時の想い、漫画家 鳥山明さんとの出会い、フリースクールで出会った友だちや様々な人たちとの出会いや経験、また大人になった今だから伝えたい当事者としての想いをお話していただきました。  
.....



☆参加された方の感想の一部を掲載します。

○自分もたまに学校に行きたくないと思ったり、休むことを続けてしまったりもあります。ですが、今日のお話を聞いて、悩んでいることは実は小さなことなんだと思いました。悩んでいてもその先の未来のことを考えて楽しみをみつけてこれからも頑張りたいです。

○不登校を経験してる棚園さんのリアルなお話が聞いて本当に心が軽くなりました。私の中の不安がかき消された思いです。何だか目の前の景色が明るくなりました。本当に感謝しています。

○どうしても世の中の流れを意識してしまいがち。枠にはめず当事者の気持ちを尊重することの大切さをお話していただき、頭の中では理解できましたが自分の子どもとなると…難しいです。でも、そうありたいと感じました。

○自分の理想を子どもに押しつけることで苦しめているのでは？と反省。先回りしているな、と。頭ではわかっているのについ…。正解がないので子どもの人生と思うように少し親としても成長したい。

○不登校と4年間向き合ってきたので棚園さんのお話がとても理解できました。当事者、その家族しかわからないことがあります。どうか、それ以外の人たちの不登校への理解が深まることを願っています。

○不登校の子どもたちの抱える問題が本当に多種多様で、それをすべて理解し受け入れることが難しい。表面的には受け入れ、ただただ子どもたちの幸せを願っている。また、特性があるのではと思う子どもたちへのよりよい対応を学びたい。

○今生きていること、今を楽しく過ごす。行きたくても行けない気持ちは一番本人がどこにぶついたらいいのか苦しいと感じた。母としてその気持ちを否定せず、受けとめて受け入れてあげたいと思った。時間はかかると思うけど。

○不登校を経験された方の話を初めて直接聞きました。わが子も小1から学校に行くことを嫌がり、ほとんど行っていません。少しずつ本人の気持ちを受け入れ家族みんなで楽しく生きていけるよう見守っていこう、サポートしていこうと考えているところです。貴重なお話を聞かせていただき、これから生きていくことに対して私自身も気持ちが軽くなりました。

○子どもが学校に行きたがらない日が多くなってきたのですが、学校に行かない分、家で過ごす方を私が決めてしまっていました。これからは子どもに決めさせようと思いました。親、大人の接し方を教えてくださってありがとうございました。